

開政クラブ 板倉 操 議員

子ども・子育て支援事業計画(案)について

(質問) 国の「子ども・子育て支援法」を受けての5年間の計画である。それまでの次世代育成支援行動計画を継承すると言うが、リーマン・ショックを経てそれまでとは子どもを取り巻く環境が大きく違っている。それについての記述が全くないが考えはどうか。また、次世代計画には5本の基本理念があり、子どもの権利・人権が大切に扱われている。

現在の社会情勢を考える時、継承されるべき理念であるが、継承されていない理由は何か。

(答弁) 子育て世代を対象に行ったニーズ調査から将来の本市における子育て支援事業の見込みを検討し策定したのが今回の事業計画である。次世代計画を策定した時代とは子どもを取り巻く環境は大きく変わっていることは承知している。情勢の変化を記述するかどうか検討したい。子どもの権利・人権は何よりも尊重されるべきであると十分理解している。

平明の会 森 喜代造 議員

介護支援ボランティア制度について

(質問) 当活動の制度や体制、参加者のメリット、また、対象者や活動内容について。

(答弁) 居住する地域においてボランティア活動に取り組み、介護予防への効果を目指すもので参加者の励みとするために、1活動ごとにポイントが得られ、還元を楽しみながら活動できる制度であり、年度ごとに還元が受けられるよ

う検討している。対象者は市内在住の65歳以上の第1号被保険者で、あらかじめ登録をしているだけで、講習を受けた上で登録証を発行する。活動については、お茶出しや清掃、剪定などの軽作業で、地域で気軽に参加でき、生きがいや介護予防の効果も期待できる。平成27年度中の実施に向け取り組みたい。事業の運営は鈴鹿市社会福祉協議会へ委託したい。

その他の質問 ○クレジット収納の導入について
○学校給食について

平明の会 泊り 育美 議員

給食について

(質問) 現在実施されている小学校給食について、残量状況は。また、今年5月から開始される中学校給食について、時間割の変更など給食時間の確保の方法、残量を減らすための献立の工夫や少食の生徒への対応は。

(答弁) 小学校給食の残量状況については季節等により変化しているが、野菜や家庭で食べ慣

れない献立は残量が多い傾向にある。中学校給食について、給食時間は他市と同様に片付けの時間は入れず30～35分程度と考えているが、時間割などの日課は各学校長の権限により決定される。献立の工夫については、小学校でも人気のあったメニューを取り入れたり、食への関心や意識を高め楽しく食事をする事で自然に残量が減るよう努める。少食の生徒は盛り付けを減らすことで、たくさん食べられる生徒がお代わりできるよう個々の生徒に応じた食事ができるようにする。

平明の会 野間 芳実 議員

子ども・子育て支援新制度について(Part.2)

(質問) 認定こども園ができることになると本市の幼稚園・保育園の定員は大きく変わると思うが、なぜ、子ども・子育て会議に報告を怠り協議もしなかったのか。

(答弁) 本件について、当該法人の新制度の「幼保連携型認定こども園」への移行が平成28年度と計画されていたため、平成27年度のいずれかの

時点での報告案件ということで、子ども・子育て会議には諮ってこなかったという状況である。今回、子ども・子育て会議をはじめとする関係者の皆様に情報が共有されなかったことに対し遺憾に思い、今後、同じような事態が生じないように、しっかりと取り組んでいく。なお、平成27年度予算に計上した「認定こども園に係る施設整備費補助金」については、子ども・子育て会議をはじめとする関係者の方々のご意見をいただき、市議会の理解を得た上で事業実施に取り組みたい。